

平成29年11月15日

保護者 様

長南町教育委員会
長南町立長南小学校長 酒井政則

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果について

立冬の候、保護者の皆様には益々御清栄のこととお喜び申し上げます。
日頃より、長南町の教育活動に対しまして、多大なる御協力と深い御理解を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、4月に実施されました全国学力・学習状況調査につきまして、下記のとおり長南町の小中学校全体及び個々の学校の状況についてお知らせいたします。

本調査で測定できるのは、学力の特定の一部分に過ぎませんが、今後の教育活動の改善等に生かしていきたいと考えております。よろしく御理解を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 調査の概要

《 調査対象学年 》		《 学力調査教科等 》	
小学校6年生  42名	中学校3年生  58名	国語科	A 基礎的知識を問う B 知識を活用する力を測定
		算数・数学科	A 基礎的知識を問う B 知識を活用する力を測定
		理科	本年度は未実施

2 結果の概要 -長南町と全国・県との比較から-

① 「知識」に関するA問題の結果


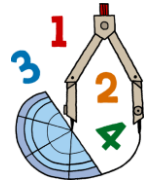
小学生 国語では、全国・千葉県との平均と比較すると、正答率でわずかに下回ります。また、算数においても、全国・千葉県との平均と比較すると、正答率でやや下回ります。

中学生 全国・千葉県の平均正答率と比較すると、国語・数学共に上回っており、既習の学習内容をおおむね理解しているといえます。

② 「活用」に関するB問題の結果

小学生 国語・算数とも全国・千葉県の平均と比較すると、正答率でやや下回ります。

中学生 活用については、国語では全国・千葉県と比較すると正答率でわずかに下回ります。数学では、全国・千葉県の平均と比較して、正答率でわずかに上回り、活用能力もおおむね身につけています。

3 今後の取り組み -学校・家庭-

特に小学生段階では、基礎学力の定着が重要です。長南町教育の重点目標である小中一貫した実践として「読み・書き・計算・学ぶ意欲」を重視した教育を引き続き推進してまいります。

小学生のゲームやテレビ、中学生の通話やメールに費やす時間が県や全国と比較して多いためです。図書室(図書スペース)や図書館の利用について、考えてみてはいかがでしょうか。

また、友達の考えを聞いたり、自分の考えを説明したりするなどの話し合い活動等を重視した指導をしてまいります。

保護者や家庭との連携を図り、家庭における学習の習慣化や規則正しい生活の習慣化に向けた取り組みを、引き続き進めてまいります。

